

食中毒事件発生情報 臨時号

○平成30年8月以降、全国で次のような**有毒な野生キノコ**による食中毒事例が発表されています。

発表日	発生場所	原因施設	原因のキノコ	概要
8/27	大分県	家庭	ツキヨタケ	8月26日に採取した野生のキノコを、翌日、自宅でみそ汁にして喫食した1名が、嘔吐、腹痛、下痢を発症。当該キノコを鑑定したところ、毒キノコのツキヨタケであることが判明。
8/28	山梨県	家庭	タマゴタケモドキ (推定)	家族が採取した野生のキノコを8月23日に炒め物にして喫食した1名が、嘔吐、下痢、倦怠感、肝不全を発症。患者や家族への聞き取り状況から、喫食したキノコは毒キノコのタマゴタケモドキが疑われた。
9/7	山梨県	家庭	ツキヨタケ	家族が採取した野生のキノコを9月6日に素焼きにして喫食した1名が、嘔吐、下痢、胸やけを発症。残っていた当該キノコを調べたところ、毒キノコのツキヨタケであることが判明。
9/10	茨城県	家庭	ドクカラカサタケ	9月7日に採取した野生のキノコを、翌日、炒め物にして喫食した1名が、吐き気、嘔吐、頭痛を発症。残っていた当該のキノコを調べたところ、毒キノコのドクカラカサタケであることが判明。
死亡事例				
9/13	三重県	家庭	ニセクロハツ (推定)	9月10日に採取した野生のキノコを調理し喫食した1名が、悪心、下痢、嘔吐、首から肩にかけての痛み、呼吸困難等を発症。その後、入院先の医療機関で 死亡 した。調理済みのキノコの残品を確認したところ、毒キノコのニセクロハツが疑われた。
9/14	栃木県	家庭	種類不明	9月9日に採取した野生のキノコを持ち帰った1グループ3名及び当該キノコを譲り受けた1名が、それぞれ自宅で炒め物や網焼き等にして喫食したところ、嘔吐、下痢を発症。
9/18	山梨県	家庭	ツキヨタケ	9月17日に採取した野生のキノコを卵とじにして喫食した1名が、吐き気、嘔吐、下痢を発症。残っていた当該キノコを調べたところ、毒キノコのツキヨタケであることが判明。
9/18	福島県	家庭	ツキヨタケ (推定)	採取した野生のキノコを、自宅で汁物や炒め物にして喫食した家族3名のうち2名が、嘔吐を発症。
9/25	長野県	家庭	クサウラベニタケ	9月22日に採取した野生のキノコを、茹でて喫食した2名が、吐き気、嘔吐を発症。残っていたキノコを鑑別したところ、毒キノコのクサウラベニタケであることが判明。
9/25	茨城県	家庭	ツキヨタケ	9月17日に採取した野生のキノコを炒め物にして喫食した1名が、吐き気、嘔吐、腹痛を発症。当該キノコの残品を鑑定したところ、毒キノコのツキヨタケであることが確認された。
9/25	茨城県	家庭	カキシメジ	9月23日に知人が採取した野生のキノコを譲り受け、自宅でみそ汁にして喫食した1名が、吐き気、嘔吐、発汗を発症。当該キノコの残品を鑑定したところ、毒キノコのカキシメジであることが確認された。
9/28	山形県	家庭	テングタケ	9月27日に採取した野生のキノコをみそ汁にして喫食した2名が、吐き気、嘔吐、めまい、手足のしびれを発症。採取したきのこを鑑定したところ、毒キノコのテングタケであることが確認された。
10/2	兵庫県	家庭	ツキヨタケ	知人が採取した野生のキノコを譲り受け、9月27日に炒め物にして喫食した2名が、嘔吐、下痢を発症。当該キノコを鑑定したところ、毒キノコのツキヨタケであることが確認された。

※ 広島市食品安全情報センターニュースはホームページにも掲載しています。

● 広島市ホームページで [広島市食品安全情報センターニュース](#) と検索してください。

病因物質が調査中であつたり、患者数等が変わる場合があります。

広島市食品安全情報センター（広島市保健所 食品保健課）〔電話：241-7437〕



毒キノコに要注意

夏の気温が高く、その後の適度な降雨があり、朝晩の気温が低下すると、多くのキノコが発生することが考えられます。

⚠️ 毎年、有毒キノコを原因とする食中毒が発生しています。

食用のキノコと確実に判断できないキノコは



探らない! 食べない! 売らない! 人にあげない!

⚠️ キノコを食べて体調が悪くなったら、すぐに医師の診察を!

ツキヨタケ



【中毒症状】

ツキヨタケは食後30分～1時間程度で嘔吐、下痢、腹痛などの中毒を起こす。

【間違えやすい植物】

- ・ヒラタケ
- ・ムキタケ
- ・シイタケ

クサウラベニタケ



【中毒症状】

クサウラベニタケは食後20分～1時間程度で嘔吐、下痢、腹痛など消化器系の中毒を起こす。唾液の分泌、瞳孔の収縮、発汗などの症状も現れる。

【間違えやすい植物】

- ・ウラベニホテイシメジ
- ・ホンシメジ
- ・ハタケシメジ

テングタケ



【中毒症状】

テングタケは食後30分程で嘔吐、下痢、腹痛など胃腸消化器の中毒症状が現れる。そのほかに、神経系の中毒症状、瞳孔の収縮、発汗、めまい、痙攣などで、呼吸困難になる場合もあり、1日程度で回復するが、古くは死亡例もある。

ニセクロハツ



【中毒症状】

ニセクロハツは食後30分から数時間程度で嘔吐、下痢などの胃腸、消化器系の中毒症状を示す。その後18-24時間ほどで横紋筋溶解が原因と考えられる全身筋肉痛、呼吸困難を示し、死亡に至ることもある。